



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035 練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <http://www.minamigaoka-j.nerima-tyky.ed.jp>

令和3年度 第5号 令和3年9月11日発行

なぜ、学ぶ。

校長 宮田 健史

東京オリンピック・パラリンピックの熱戦は、人間の持つ強さや素晴らしさ、美しさを伝えていました。その中で多くのアスリートがインタビューに、「〇〇を目標に頑張ってきました。」と、応えていました。始業式では、パラリンピックの父といわれるグッドマン博士の「失ったものを数えるな、残されたものを最大限生かせ」を紹介し、今自分ができるところに力を注いで、自分の夢に向かい2学期を踏み出してほしいと話しました。

目標によく似た言葉に目的があります。目的は目標より、より壮大なもの、芯（真）となるものと私は捉えています。目的の大切さを伝えるこんな話をご存じでしょうか。

レンガ積みをしている3人の職人のわきを、旅人が通りかかった。旅人は、それぞれに「あなたは何をしているのですか？」と声を掛けた。1人目は「見ればわかるだろ。レンガを積んでいるんだ。」。2人目は「お金を稼いでいるんだよ。」と答えた。3人目は「教会をつくっているんだ。教会ができた時には、ここで多くの人が祝福を受け、悲しみをはらうんだ！」と答えた。

同じ行為でも目的一意味づけが違っていると、意欲が、行動が違ってきます。結果が違って来るかもしれません。ひょっとすると人生も変わるかもしれません。

さて、保護者の皆様はお子様から「なぜ、勉強するの？」と聞かれたら、何と答えますか？ かつて私が授業をしていた時、4月初めて教える生徒たちに最初にする質問が、「君たちは、なぜ学ぶのだろう？」でした。一人一人に、学ぶことへの目的をはっきりさせ、その目的に向かって学んで欲しい思いから、この質問をしました。生徒からは、こんな答えが返ってきました。「義務教育だから」「親が勉強しろって、うるさいから」「もてる」「しなきゃいけないものだから」「わかると楽しいから」「〇〇高校に入りたいから」「お金持ちになれるから」…。

私は、生徒に「学びの目的は、幸せになるため」と伝えていました。幸せの定義は人によって異なりますが、なりたい自分——権威、職業、人柄…——になれたり、欲しいもの——財産、友人、伴侶…——を手にできたり、やりたいことができるようになれたら、それは幸せだろう、と話しました。学ぶことで、全ての願いがかなうということではありません。学ぶことで、できることできないこと、向き不向きなど、自分を知り自分の力を最大限に生かす方法を見つけ行動し続けることで、自分の幸せに近づくことができるという意味です。

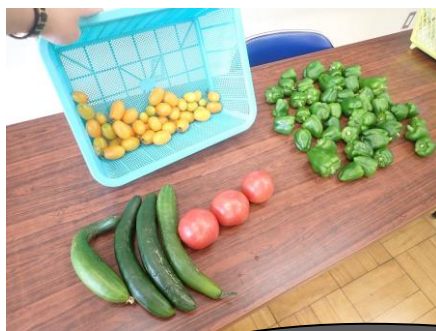
小中学校の学びは、人生の大きな基礎となります。私流に言えば、幸せの土台を作ることです。日本中の小中学校の教員は学びの土台がより強固となるように、子供たちに学びの面白さやできた時の喜びを味わわせようと授業や行事など、様々な工夫をしています。しかし、学校だけで学びを定着させたり見える結果を出したりすることは、大変難しいことです。それには時間がかかります。投げ出さずに学びを続けていくためには、学ぶ目的をしっかりと子供たちに持たせることが大切になります。それを示すことができるのは、これまでの経験から保護者の方の姿（行動）がとても大切だと、感じます。

「なぜ学ぶのか？」。コロナ禍で、これまでとは少し異なる学校生活が続く今だから、学びへの大きな価値をつくるきっかけとするためにも、お子様と一緒に学びの目的を考えてみるのはいかがでしょうか？



【夏季学習教室・E組夏季特別教室】 7月26日（月）～28日（水）

夏季休業期間中の学習習慣を定着させ、基礎学力の向上を図るため、希望する生徒が自主学習に取り組みました。またE組では、育てていた夏野菜を収穫したり、楽器や運動をしたりして楽しみました。



夏季休業中／南が丘中生徒の様子

～新型コロナウイルス感染症にも負けず、夏休み中に活動した生徒の様子を紹介します～

【吹奏楽部】

7月30日（金）練馬文化センター大ホール
東京都中学校吹奏楽コンクール B組 銀賞

新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的な活動が中止になっていた吹奏楽部。当日は審査員のみが無観客演奏でしたが、南が丘中のあたたかく豊かな響きが、練馬文化センターへ響き渡りました。



【創作部】

8月26日（木）ちひろ美術館・東京
校外活動（見学）

いわさきちひろの作品に加え、絵本作家「赤羽末吉」の特別展が開催されていて、小さな美術館ですがとても見応えがありました。部員は模写をするなどして、創作意欲をかき立てていました。



◆緊急事態宣言延長による南が丘中学校の動き◆

この2学期は緊急事態宣言下のスタートです。練馬区の方針に基づき、本校の教育活動を進めます。

- ・宣言中は午前授業、給食後に下校となります。感染不安等により欠席する生徒へは、タブレットPC等を活用したオンライン学習指導等を実施しています。
- ・全校生徒を対象に「ミライシード（学習支援ソフト）」を活用できる環境を整えました。
- ・9月の実施予定の「3年修学旅行」、「E組移動教室」は、残念ながら中止とします。
- ・部活動は基本的に中止としています。ただし、大会を控える部活動については、感染予防を徹底した上で、時間制限のもとに一部実施しています。

◆ワクチン接種・感染予防について◆

練馬区でも中学生の年齢を対象としたワクチン接種が始まっています。予約の期日や場所の選択が困難であり、学校の授業時間と重なってしまった場合は欠席の扱いにはなりません。また、ワクチン接種による副反応で、体調が悪くなった場合には、無理をせず休養を取ってください。いずれの場合も、学校までご一報ください。また、生徒本人だけでなく、同居される家族の方々に体調不良が認められる時にも、大事を取って登校をお控えください。感染拡大の防止を第一に、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。